



自転車通行の安全対策事例

令和8年 8月24日

道路維持課

直 通：092-643-3655

内 線：4487

担 当：今村、大川

みやま市の中学生が自転車のヒヤリハットマップを作成します！ ～自転車通学時のヒヤリハット箇所を可視化～

みやま市立みやま中学校にて、自転車の交通安全対策の一環として、通学時などに「ヒヤリ」「ハッ」とした箇所を可視化したマップを作成します。

ヒヤリハットマップの作成にあたっては、アドバイザーにご協力いただき、生徒と道路管理者（福岡県・みやま市）、交通管理者（警察）が、一緒にワークショップ形式で意見を取りまとめ、マップへ反映します。

1 開催日時

令和8年8月31日（月） 11:00～12:50

2 場所

みやま市立みやま中学校（みやま市瀬高町下庄1885）

3 内容

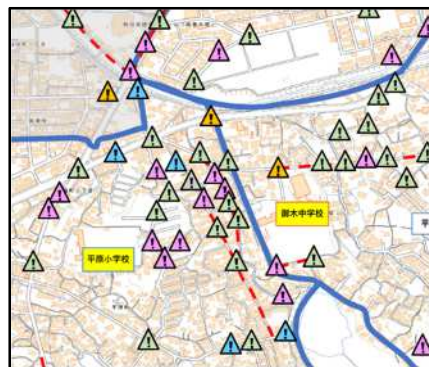
生徒が通学する道路で「ヒヤリ」「ハッ」とした箇所や内容を図面に書き起こして、注意して通行する箇所を可視化します。また、「自分たちでできる安全対策」について意見を出し合い、班毎にとりまとめて発表します。

4 参加者

- ・みやま市立みやま中学校 1年生 約100名
- ・道路管理者 福岡県、みやま市
- ・交通管理者 福岡県警
- ・みやま市教育委員会

（ファシリテーター）

日本自転車文化協会 理事 みこしば 御子柴 けいじ 慶治 氏



例：大牟田市立御木中学校（昨年度実施）
自転車利用時のヒヤリハットマップ

5 ファシリテータープロフィール

みこしば けいじ
御子柴 慶治 氏（日本自転車文化協会 理事）



道路空間整備システム構築プロジェクト推進協議会事務局。
東池袋の高齢ドライバー事故をきっかけに分野横断的な専門家集団「高齢者事故からモビリティを考える会」を結成。この活動をベースに「移動貧困社会からの脱却～免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット～（編著：時事通信社）」を共同執筆。

6 アドバイザープロフィール ※ 当日、アドバイザーの参加はございません。

くすだ えつこ
楠田 悦子 氏（モビリティジャーナリスト）



道路空間整備システム構築プロジェクトメンバー。
東池袋の高齢ドライバー事故をきっかけに「移動貧困社会からの脱却～免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット～（編著：時事通信社）」を出版。高齢者、子育て層、観光客が安全安心な社会のために、通学路に着目し、安全な道路空間の PDCA やデジタル活用を考えている。
国土交通省「自転車の活用推進に向けた有識者会議」委員

★ 報道機関の皆様へ

現地での取材・撮影の希望がありましたら、8月27日（木）17時までに、担当課までお問い合わせください。